

(様式3)

女性農業者活躍促進計画

実施主体名	銀河ファーム
取組	(1) 女性農業者グループの活動支援②6次化に向けた先進事例の調査
構成員数	10人(うち女性の人数:5人) (令和3年7月時点)

1 事業実施方針

山梨県の新規就農者数は、10年で約1.5倍(H22:185名(内女性27名)→R1:307名(内女性79名))と増加しており、近年は新規就農者の内女性が約3割と増加している。今後も、女性の農業での活躍は必要であり、より女性が実践しやすい環境整備を実施する。

銀河ファームには、農業の職業訓練校終了者、訓練校の助手及び元助手が所属しているため、栽培分野の知識があり、実際にぶどう栽培、生食用葡萄ぶどう販売を行っている。また、構成員の中には自家ぶどうを委託醸造したワイン販売や自家果樹を委託加工したジュース販売を実施している。

構成員の大半が移住者又はUターンの非農家出身の新規就農者で、各自の経営の強化、継続可能な農業経営が行えるよう、共通の畑の中に各自担当の樹を持ち、年間を通してのシャインマスカットの栽培技術育成を行っている。今後は一般向けに貸農園、農業体験塾、加工品ワークショップを行い、地域の農業人口の増加を目指している。

そのため、(1)女性農業者グループの活動支援②女性グループ活動の発展に向けた取組として6次産業化(商品開発)に向けた先進事例に調査を計画している。他県の農家の主婦が立ち上げた加工所の視察研修を行い、よりよい加工品の販売体制を確立するとともに、今後、連携する女性農業者を募集し、共同で加工所を設置することが可能なか検討を行う。

また、さらに栽培、収穫体験、加工品ワークショップ等のイベントを開催し、新しい女性農業者を多く呼び込む。

2 女性農業者活躍に向けた実施体制

銀河ファームには、農業に興味にある女性、果樹王国山梨の果樹栽培、ワイン県でのワイン造りに興味のある女性が県内外より毎年定期的に栽培体験に来ている。アフターコロナに備え単発的な体験への参加募集から、一歩進めてシーズンを通して作業体験ができる栽培クラブを組織化する。ぶどう栽培は、女性ならではの観察力、手先の器用さが必要であり、段階を追って高度な技術習得を図っていく。加工の面でも女性農業者の器用さ、丁寧さが必要であり、積極的にグループに呼び込んで行く。ぶどう産地である韮崎市穂坂地区では後継者がいなく辞める農家が出始めてきた。せっかくの産地を守るためにも、女性栽培家となりうる人材を地域に呼び込みたい。

2020年に地域の廃業する農家の方からビニールハウスを入手し、職業訓練校の協力のもと、ビニールハウスの建築を学びたい新規就農者を集め、ワークショップ形式で移築をした。農機具格納用、休憩室用、出荷調整用に3棟完成し、休憩室ができたことにより、より栽培ボランティアを呼び込みやすくなった。

3 女性農業者活躍のため実施している取組及び今後の取組

(1) 女性の就農希望者、新規就農者の呼び込みに向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>収穫体験のイベント化</p> <p>栽培ボランティアの受け入れ</p> <p>構成員がワイン専門誌「ワイン王国」にて山梨での女性栽培家奮闘記として1年連載を持ち、ワイン好きの読者に醸造用ぶどう栽培に興味を持ってもらえることができた。</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1)新規就農者の研修・体験受け入れ継続</p> <p>2)地域関係機関(中北農務事務所、6次産業化サポートセンター、新規就農センター)との情報交換・求人協力依頼</p>	<p>成果) 男性7人女性15人</p> <p>週2回 男性1名</p> <p>月2回 男性2名女性2名</p> <p>目標)</p> <p>栽培クラブを組織化し、ワイン王国の読者等を対象に募集する。</p> <p>男性5名、女性5名</p> <p>1)年間2人(目標)</p> <p>2)毎年(目標)</p>	<p>2019年</p> <p>2021年</p> <p>2020年～</p>

(2) 女性の新規就農者の農業や地域への定着に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>職業訓練野菜コース修了者のつながりで、葡萄栽培を取り入れた複合経営を考えている人に声をかけ、メンバーに加入した。</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1)定例会の継続開催</p> <p>2)関係機関(中北農務事務所)での勉強会・研修会参加を通じた関係性・ネットワーク構築</p>	<p>成果) 2020年女性1名</p> <p>2021年女性1名</p> <p>目標) 2022年1名</p> <p>1)毎月実施(目標)</p> <p>2)年間2回程度(目標)</p>	

(3) 女性農業者の活躍に向けた取組

内容	成果/目標	備考
<p>(実施中の取組)</p> <p>1) 構成員が韮崎市ワインブランディングプロジェクトの一環のワインセミナーでの配布冊子「韮崎でもノムリエール」にて、栽培農家兼フードコーディネーターとして韮崎既存4ワイナリーのワインに合うレシピの作成、解説を行った。</p> <p>(今後の取組)</p> <p>1) 果樹加工品の商品開発と販売開始 果樹を使った菓子や加工品の商品開発と販売</p>	<p>成果) 今後ふるさと納税返礼品発送時に冊子も同封されることになった。</p> <p>目標) 地元の美味しいものを農家目線で伝えていく。栽培体験、果樹加工体験にも取り込み、農業への興味、関心の向上を図る。</p> <p>1) 2021年は試作のみ。販売可能な体制になったら販売を開始する。</p>	

4 女性の活躍推進対策事業を活用した取組の計画内容

(1) 地域の女性ネットワークづくり、女性グループ活動

【計画内容】

時期	内容（対象者・方法等）	備考
令和3年	<p>活動①他県の地域女性農業者が経営する果樹加工所への調査・視察にて使用。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・視察先グループ 小池手作り農産物加工所 ・視察目的 地域の農産販売をリードしてきた女性が還暦の時に起業したという加工所で、農産物加工について、加工所のしくみについて、今後加工品をどう作っていくか検討する。さらに、今後自分たちの加工所を設立するべきかも検討する。 <p>視察人数 10人 対象者 小林晴夫、今川正人、三枝慎悟、板山浩美、今川弘子、保坂香子 他4人</p>	

5 女性農業者確保の目標

事業実施年度翌年度までの 女性農業者の新規確保人数	3人
(新規確保女性農業者の内訳) 自営農業就業者 1人、雇用就農者 2人、アルバイト・ボランティア等 2人	